

平成30年度 東京都女性活躍推進大賞 受賞者

大賞

団体の人数は正社員数、教職員・研究者数、職員数（うち女性）

	団体・個人名	取組概要・効果
産業分野	コネクシオ株式会社 5,255名(2,647名)	【男女がともに活躍できる職場を目指し、人財育成・働き方改善を実施】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性リーダーの登用や育成のため、育成塾や研修を実施（女性管理職比率:5年間で4.5%→9.3%に倍増） ○ 男性の育児休業取得を推進。制度のほか、社内で蓄積された育児のノウハウを記載したガイドブックを作成（男性の育児休業取得率は63.0%） ○ 休暇取得推進やテレワーク導入など、全社員のライフ・ワーク・バランス、就業継続支援を推進
医療・福祉分野	医療法人社団 東山会 426名（358名） ※調布東山病院など3医療機関を運営	【適正な業務量の設定による医師の働き方改革を中心とした、トップマネジメントによる働きやすい環境作りの推進】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 医師について基本勤務ルール（5日勤務、公休日呼び出しなし等）や、入院患者担当数を設定するなどし、医師の働き方改革を推進 ○ 女性医師比率が10年間で約30%から約40%に向上 ○ 時間外労働時間や休暇取得率をトップマネジメント会議で共有し、業務改善や人員構成の変更を実施。ドック健診センターで残業ゼロ達成
教育分野	国立大学法人 お茶の水女子大学 481名（269名）	【研究者支援、社会人女性を対象とした生涯学習講座により、女性リーダーを育成】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究が中断した女性研究者の復帰を支援するため、特別研究員として最長2年間雇用する「みがかずば研究員支援制度」(独自制度)を実施。 「研究員補助者支援制度」「研究者一時支援制度」も展開 ○ 企業等で管理職を目指す社会人女性を対象とした生涯学習講座「お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾(きいんじゅく)」を開講 ○ 女性教員比率は50%を超えており、国立大学ではトップ
個人	岩田 敏江氏 (いわたとしえ) 瑞穂町社会教育施設 耕心館ボランティア代表	【施設運営のボランティア活動を通じ、町の活性化に貢献】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 瑞穂町の施設運営ボランティアとして、「つるし飾り」を製作・展示 ○ つるし飾り展は、町を代表するイベントに成長 ○ 一介の主婦からボランティアを開始し、17年間活動を継続 現在はボランティアの代表を務める。

	団体・個人名	取組概要・効果
産業分野	港シビル株式会社 13名（3名）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新職域「施工管理事務」を確立。未経験者の女性を配置し、ドボジョの育成を図るとともに、監理技術者の残業時間をピーク時で10時間削減達成 ○ ライフイベントに合わせるため、時短勤務やテレワークを導入・活用
	株式会社レオパレス21 6,040名（1,735名）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性の就業継続意識を高めるため、ライフイベントによる退職者が復帰できる「カムバック制度」の導入を行う等、両立支援や女性社員のキャリア形成支援を実施 ○ 男性の育児休業取得を推進（男性の育児休業取得率：33.3% 取得者のうち2割近くは1か月以上の取得）
医療・福祉分野	社会福祉法人嬉泉 495名（364名）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「次世代プロジェクトチーム」を立ち上げ、仕事と子育ての両立や働きやすい環境整備を実現。相談窓口の設置、経営トップへの提言や啓発活動を展開し、育休取得・復帰者数の大幅増加 ○ 職員の意見を聞きながら、納得性の高い評価システムであるキャリアパスを構築し、更なる定着率向上を目指す。
	社会福祉法人奉優会 1,877名（1,293名）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 客観的な評価基準を用い、徹底した成果主義を実践することで、育休復帰後の時短勤務者でも積極的に管理職に登用（部長以上の女性比率：44%） ○ 無認可保育所の保育費一部補助「FOR YOU キッズサポート」などの両立支援制度の実施
教育分野	国立大学法人東京農工大学 616名（125名）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 産休取得期間にある女性研究者に専任産休ポスドクを雇用し、研究が中断しないよう支援。育児期には研究支援員の派遣を実施 ○ ポジティブアクションにより、女性教員の採用、幹部登用を推進（女性常勤教員比率 平成20年度：5.4% → 平成29年度：13.7%）
個人	関 直美氏 （せき なおみ） シテ方宝生流能楽師 音楽博士 茶道裏千家教授、 伝統文化普及団体 伝統の橋がかり代表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男性中心の伝統芸能の分野で、能楽師として活躍 ○ 伝統文化普及団体「伝統の橋がかり」を立ち上げ、子供たちや外国人など多様な人々に伝統芸能の魅力を発信

特別賞

団体の人数は正社員、職員数（うち女性）

	団体名	取組概要・効果
産業分野	株式会社 井口一世 30名（15名）	<ul style="list-style-type: none">○ 実力主義による評価を徹底 （女性社員比率50%、女性役員比率:50%、 女性管理職比率:67%）○ 全員が多能工となれるよう、職域を限定せずジョブローテーションを実施し、休暇を取りやすい環境づくりを推進
地域分野	一般社団法人 建築設備技術者 協会 8,180名	<ul style="list-style-type: none">○ 企業内で孤立しやすい女性技術者を対象に、交流会や見学会を実施し、ネットワークを形成○ 平成24年に4名の発起人で発足した設備女子会の登録者数は、600名以上に増加